

# 富山経協



## CONTENTS

- 2 2月度理事会(報告)
- 4 TOP INTERVIEW  
若林商店 若林啓介社長
- 6 調査報告  
2011年4月新卒者の採用に関する調査結果
- 8 2011年度 富山経協 年間スケジュール
- 10 業務日誌
- 10 Keikyo 行事レポート
- 12 参加者NOTES
- 14 新会員紹介
- 14 会員の動き
- 14 INFORMATION (事業案内)
- 15 景況指標
- 16 おしらせ・行事予定

# 2月度理事会(報告)

2月7日(月)17時から名鉄トヤマホテルで、稲垣会長はじめ副会長ならびに常設委員長ら理事49名が出席して、理事会を開催した。

諸議案を審議ののち、会員80名が参加して研究部会成果発表会を開催。人事・労務政策委員会と教育委員会が発表し、19時5分、盛況のうちに散会した。



## 一 議 事 一

### 1. 常設委員会報告

「経営特別委員会」守山委員長、「総務委員会」金井委員長、「人事・労務政策委員会」綿貫委員長、「教育委員会」武内委員長、「品質管理委員会」町野委員長、「環境委員会」松岡委員長、「文化交流委員会」桑名委員長から、2010年度事業報告、2011年度の事業計画について報告があった。

### 2. 第66回定時総会付議案件の審議

5月9日(月)開催予定の「第66回定時総会」の付議案件として、①2010年度事業報告、②2010年度財

務諸表承認、③2011年度事業計画(案)審議、④2011年度収支予算(案)審議について、佐藤専務理事より説明があり、いずれも異議なく満場一致で承認された。

### 3. 2011年度暫定予算の承認

2011年度暫定予算について佐藤専務理事より説明があり、満場一致で承認された。

### 4. 新会員の承認

エコサイクル(株)、黒部峡谷鉄道(株)、笹嶋工業(株)、(株)三和製玉、(有)シンワ電工、丸栄運輸機工(株)、(株)クレハ、以上7社が満場一致で承認された。

## 研究成果報告

今年度は、教育委員会が「教育体系と管理者教育の課題」、人事・労務政策委員会が「メンタルヘルス対策報告書」、環境委員会が「事例発表会報告書」と、3委員会研究成果を小冊子にまとめ、会員へ情報発信した。この日は、そのうち人事・労務政策委員会「メンタルヘルス対策研究部会」と、教

育委員会「管理者教育研究部会」が成果報告を行った。

メンタルヘルス対策研究部会は、県内の精神障害者数は約2.1万人おり、そのうちうつ病患者は約5,000人。患者数は急増しており、企業として対策は急務であると報告。発症を防ぐための企業環境づくりと、重篤化させないための対応策、リ

ワークのための社内体制の整備な



## 2011年度 富山経協 事業計画

### 【基本方針】

2008年初秋以降、経済危機により大きく動揺した世界経済は、その後の各国で打ち出された大規模な経済対策や、金融市場の安定化に向けた努力、さらには、中国をはじめとした新興国経済の力強い成長などにより、深刻な状況からは抜け出し、総じて回復を続けてきた。

日本国経済も、新興国経済の成長を背景に輸出や生産が増加し、ゆるやかな回復を続けてきたが、少子高齢化や人口減少等が進み、国内市場が成熟の度合いを一層深めており、かつてのような高成長の実現は困難である。

一方、アジア新興国市場は、巨大な人口と、経済成長に伴う中間所得者層の拡がり相まって順調に拡大を続けており、日本の企業は新たな成長の機会を求めて、グローバル化の動きを加速し、グローバル経営を展開する先進国企業のみならず、立地条件・製造コストで優位に立つ新興国企業とも厳しい競争を行っている。

いかなる状況においても企業は継続しなければならず、経営者はこうした大きな変化をチャンスとして、企業家精神をいかに発揮し、自社の

成長につなげていくためのビジョンを描き、実行しなければならない。そうした努力に基づく企業の存続・発展が社会に付加価値として還元され、社会の安定につながる。

社団法人富山県経営者協会は、富山県という地域社会と、経済界を担う経営者という観点に立ち、地域の業種や規模を問わない経営者の集う「経済団体」としてのあるべき姿を常に見直し、行動することにより、その役割を果たしていかなければならない。

具体的には、多様化する会員ニーズに対応し、経営課題の研究・広報を行う、きめ細かい教育・研修をはじめとする事業の展開、情報交換を行う、労使関係の充実を目指した提案を行うことなどにより、会員企業のさらなる繁栄につなげていく。また、地域社会における民間の経済団体の代表格である位置づけの責任を果たすため、行政の雇用安定や地域振興の取り組みへの支援を行い、他経済団体との連携を深めて、地域社会の発展に努める。

以上の実現を目指し、2011年度の事業活動を以下の通り行う。

- 1 企業の存続なくして雇用はありえない。このデフレスパイラルの環境下においては個々の企業の経営努力には限界があり、緊急雇用対策などの公的扶助制度を会員企業が有効に活用できるよう広報活動などの支援を進めていく。
- 2 企業の繁栄の源泉は究極的には人材力である。会員企業各社の実情に適合し、そこで働く人がより働きがいを感じる人事処遇制度の実現に向けての支援を強化する。
- 3 単独の活動には限界がある。行政並びに他の経済団体との連携を通して、当協会の各種事業の強化と充実を図っていく。
- 4 協会としてのあるべき姿を目指す。新公益法人への移行に向けての改革を逐次進めると同時に、会員増強と会員相互協力の場合である各委員会活動への各社担当責任者の参画を促進していく。

どについて説明し、特に、うつ病については「脳の病気」であり偏見を持たないことが重要とした。

管理者教育研究部会は部会8社の事例研究結果を報告。特にマネジメント能力の低下を感じる企業が多く、今後は①管理者前教育でQC的なもの見方・考え方など実践面への働きかけを強化②日々

のPDCAのチェックとコミュニケーションによる管理者育成の仕組みづくり③OJTで充実を図る④フォロー研修にも注力⑤企業の管理責任が問われるなか、労働時間管理、メンタルヘルス、内部統制、コンプライアンス、CSR、リスク管理等についても管理者教育の必要性を説いた。



## 1人当たりの生産性向上 品質で勝負、環境対策も

株式会社 若林商店  
代表取締役社長

若林 啓介氏



創業138年の県内紙卸業の老舗で  
かつ最大手です。業界の現状は  
いかがですか。

私が入社した1988年当時は、県内に紙卸は8社ありましたが、倒産や廃業などで今、全国区の組合加入が3社、未加入が2社の、計5社になっています。国内全体では、組合加盟がピーク時の750社から約450社に減っています。紙の需要量のピークは2000年頃で

3,200万t あったのが、現在は2,700万t になっています。

厳しい業界の状況下、御社が堅調なのは富山薬業界の活況とリンクしているようですね。

医薬品メーカーが頑張っているお陰です。紙は大きく分けると、新聞紙などの情報媒体に使われる洋紙と、主に段ボール原紙である板紙の2種類あります。当社の取り扱いは約7割が板紙で、

約1万tですが、その大半が医薬品パッケージなどに使われる白板紙です。情報媒体の洋紙需要は減ると読み、パッケージ向けの板紙に力を入れてきた結果です。

—多品種小ロットに対応—

製紙会社の指定代理店が紙器メーカーへ直に原材料を納める「中抜き現象」がありますが、卸としてどう対応されていますか。

例えば、明治時代からの取引先である朝日印刷さんの場合は、全体の紙使用量の7～8割は代理店から直接購入されていると思います。納入先の薬品メーカーからの薬箱の発注ロットは、小さいものは100個位から、大きなものは何10万個と、多岐にわたっています。大きなロットは直接メーカーの工場から10t車で運べますが、100個程度になると当社の出番です。薬の需要構造が多品種小ロット、しかも多くは短納期が求められるため、近距離にあり、小回りが効く当社のサービスが生きてきます。朝頂いた注文を午後一番に納めることができるように、相当量の在庫を備えて対応しています。

紙原料を加工し付加価値をつけて納めるのですか。

基本的にはベースの紙を納品していますが、お客様からの要望に対応して指定の大きさに切るなどの加工も行っていますし、何十何枚といった単位に小分けもします。医薬品の包装容器は安定した品質が求められるのではないですか。

製薬会社がある程度、仕様を決め、場合によっては紙まで指定されることもあり、パッケージメーカーはいかに仕様通りに作るかが大切です。そのため、当社も仕様通りきちんと納めることが求められます。薬品向けですので、古紙

が原料の白板紙の品質には注意を払っています。仮にクレームが出た場合に、どのロットまでNGなのかを特定しないとイケません。一番気を使うのがこのロット管理で、ISO9001を取得した最大の理由です。

**紙は湿気を嫌うので、温度管理も大変ですね。**

昨年、断裁加工場所をかなりの投資をして改装しました。紙はストレスをかけると、目には見えない細かいしわが入ります。引き合えば、非常に微妙な印刷か、著しく高品質なものか、ロットが細かいなど、ますます求められるレベルが上がってきています。当初仕入れた紙の品質を、いかに劣化させずに加工するかが1つのテクニック。パッケージ会社は医薬品や食品メーカー相手ですからGMPやHACCPなどの規格に対応している工場に商品を生産できないと、生き残っていきけません。

**多品種、小ロット対応で在庫を抱えながら、どのようにコストダウンを図っているのですか。**

紙の場合、厚みと大きさ、流れ目（縦目、横目）の3要素が組み合わさるので、1種類の紙でもものすごい在庫点数になります。合理化するには、いかにその多くの点数を無駄なく在庫するかということと、それをいかに早く入出庫するか、いかに多品種小ロット、

短納期に対応するか。それを可能にするのが電子化・機械化です。

**1994年に射水市の物流センターに自動ラック倉庫を併設されました。**

バーコード管理による自動化で、本社で営業が伝票を入力すると、倉庫でバーコードのついた伝票が出てきます。商品が自動出庫された後、ピッキングだけは人間がやります。物流も、トラックを大小そろえて車両を充実させ、人の動線を短く、いかに1人の人間が扱う量を増やすかに知恵を絞っています。

**従業員数が24人で22億円の売り上げですと、1人当たりの生産性が高いですね。**

物流センターには12~13人、営業は男女合わせて11人。私は、従業員1人当たり売上げ1億円を超えないとダメだと言っています。まだ9,200万円ほどです。固定費を下げて、1人当たりの取り扱いトン数を増やす。単価も利益率も下がる状況の中で生き残っていくためには、会社として大きくなることより、1人当たりの取り扱いトン数をいかに上げるかということが勝負だと思います。

**商社マンとして海外勤務の経験もお持ちです。現在、富山市の教育委員長をされておられますが、社員教育、人材の育成策は。**

基本的にはOJTですが、経団連の洋上研修には毎年社員を派遣

しています。また、営業の人間には、紙業界の資格である紙営業士を全員に受験させています。また、当社はISO9001やISO14001、森林管理協議会のFSC森林認証を取得し、品質や環境への取り組みを進めており、これらの更新審査を含め、勉強になります。

**紙営業士とはどのような資格？**

紙を販売するのに必要な基礎知識、紙の種類や物性、経営的な数値管理や、販売に関わる契約などについて、年間2~3回、講習後に試験を受けます。合格率が低い難しい試験です。

— 屋上緑化で環境負荷低減 —

**省エネ・エコといった環境問題に熱心に取り組まれています。**

社屋の断熱化、営業用車両のハイブリット車導入、電気フォークリフトへの入れ替えなどを行っています。屋上緑化にも取り組み、2005年から本社屋上でサツマイモを水耕栽培しています。収穫時には社員も楽しんでます。

**座右の銘は。**

「今日は残りの人生の最初の日」。米国に留学した際、卒業アルバムに友人が添え書きしてくれた言葉です。日々、心を新たにして経営に臨むようにしています。

#### 会社概要

##### 株式会社 若林商店

創業：1873年3月

所在地：富山市白銀町2番の5

資本金：2,000万円

事業内容：洋紙・板紙・和紙・紙製品・包装材料・事務用機器・PPC用紙・感熱紙・化成品の販売及び付随事業、不動産賃貸

従業員数：24人(2011年2月末現在)

売上高：22億円

関連会社：第一共同印刷(株)、(株)北陸紙センター、(株)インフォ

URL：<http://www.kamiwaka.co.jp/>

#### — 略 歴 —

1952(昭和27)年10月生まれ。富山市出身。一橋大経済学部卒業後、1976年三井物産入社。本店、ドイツ勤務などを経て、1988年若林商店入社。2001年2月から現職。



品質向上、環境対策を進める本社屋で

## 2011年4月新卒者の採用に関する調査結果

社団法人 富山県経営者協会

### 採用数は製造業で回復、非製造業では減少

#### 2012年採用予定数は増加の兆し

当協会では標記調査結果をまとめた。これによると、全体の採用総数では2011年4月は昨年比1.9%の減少。産業別の内訳では、製造業で18.0%の増加となった一方で、非製造業は21.6%の減少となった。

また、2012年4月採用については、現時点では採用予定の具体的な人数を未定としている企業が多く流動的ではあるが、未定企業の2011年4月採用実績等を勘案すると増加する見込みである。

中途採用については、2010年実績は1,167人あったが、2011年の予定は昨年比74.4%の大幅減少の見込み。派遣労働者についても昨年比38.0%の減少見込みとなった。

#### 〔調査対象企業等〕

調査対象は、当協会会員企業429社(2月1日現在)。177社から回答をいただいた(回収率41.3%)。内訳は製造業106社、非製造業71社である。

この調査は1995年より毎年行っているもので、今回は17回目にあたる。

### ■新卒者の採用状況

#### 1. 2011年4月採用

新卒者の採用状況を全産業・全学歴計でみると、2010年の1,429人に対して2011年は1,402人(27人減、△1.9%)と、前年比微減となった。

産業別でみると、製造業では2010年の712人に対して2011年は840人(128人増、+18.0%)と増加した一方で、非製造業では2010年の717人から2011年は562人(155人減、△21.6%)と減少している。

次に、学歴別にみると、高校卒では2010年の361人から2011年は482人(121人増、+33.5%)と製造業を中心に増加したのに対し、大学卒では773人から638人(135人減、△17.5%)と非製造業を中心に減少していることが目立つ。その他、大学院卒、短大・高専卒は若干の減少、専門・専修卒は若干の増加となっている。(図表1)

#### 2. 2012年4月採用(予定)

2012年4月採用予定人数について具体的な数値で回答があった123社の合計は1,027人であり、同じ会社の2011年4月採用実績932人と比べて95人増(+10.2%)

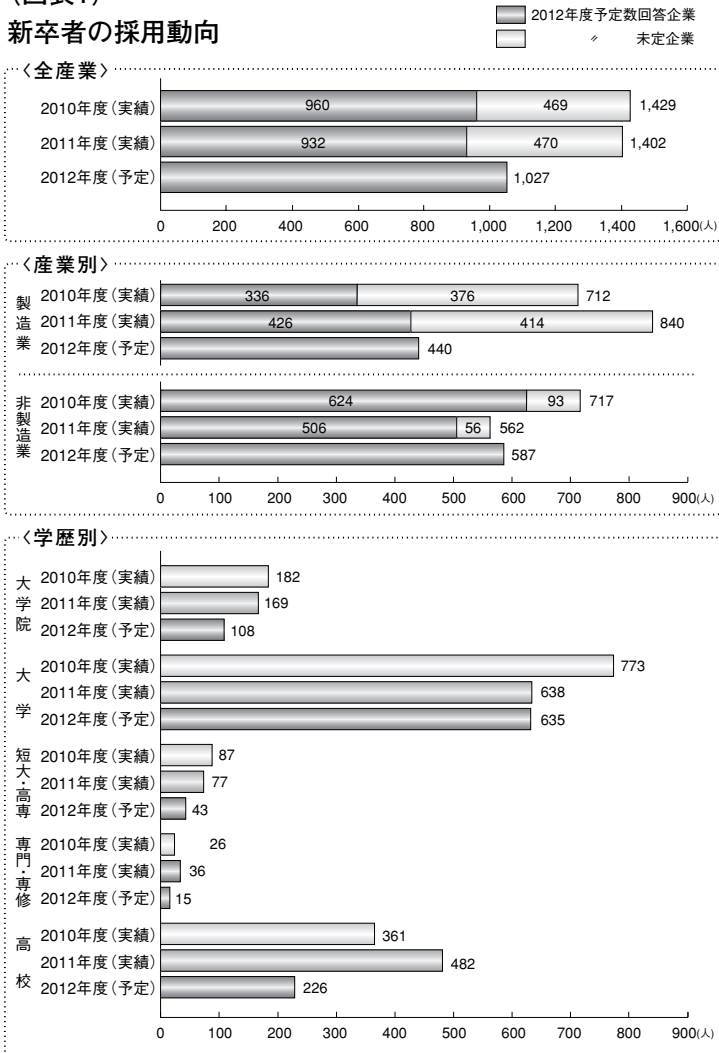
となっている。また2012年4月採用予定数を未定としている企業(以下「未定先」と言う)が54社(2011年4月の採用実績470人)あり、更なる増加が予想される。

産業別に比較してみると、製造業では2012年4月採用予定人数について具体的な数値で回答があった71社の合計は440人であり、同じ会社の2011年実績426人と較べて14人増(+3.3%)となっている。未定先35社(2011年採用実績414人)の動向も期待される。近年、採用予定数が多い「化学・薬品」は2012年も前年並みの89人を予定しているが、落ち込んでいた「一般機械」は130人、「金属製品」も89人と回復してきている。

一方、非製造業では、2012年4月採用予定人数について具体的な数値で回答があった52社の合計は587人であり、同じ会社の2011年実績506人のみならず、未定先19社の2011年実績(56人)を加えた562人も上回っている。業種別では、「金融・保険」の244人、「情報・通信」の158人が際立っているが、「電気・ガス」などの未定先には例年採用数の多い企業も含まれる。(図表1、表2)

(図表1)

## 新卒者の採用動向



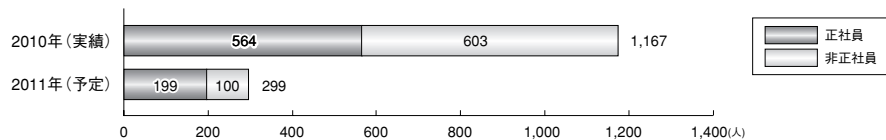
(表2)

## 2012年度業種別採用予定状況

(単位：人)

産業区分	回答企業数		採用予定人数
		うち未定	
食料品製造業	4	3	0
繊維工業	4	1	16
パルプ・紙・紙加工品製造業	4	1	6
印刷・同関連業	4	2	4
化学工業、薬品製造業	20	6	89
プラスチック製品製造業	8	4	5
鉄鋼・非鉄金属製造業	6	2	25
金属製品製造業	17	4	89
一般機械器具製造業	15	4	130
電気機械器具・電子部品製造業	14	1	65
輸送用機械器具製造業	5	4	10
その他製造業	5	3	1
製造業計	106	35	440
建設業	12	4	51
電気・ガス業	3	2	6
運輸業、倉庫業	13	4	57
情報サービス・通信業	11	2	158
卸・小売業	17	3	43
金融・保険業	3	0	244
サービス業、その他	12	4	28
非製造業計	71	19	587
全産業計	177	54	1,027

(図表3) 中途採用動向



## ■ 中途採用の状況

回答企業177社中、2010年中（1～12月）に中途採用を行った企業数は127社で全体の71.8%、2011年中の採用予定企業は69社で39.0%である。未定とする企業は35社（19.8%）となった。

次に、中途採用者数については、2010年の採用者数は1,167人、2011年の予定は299人（868人減、△74.4%）であり、大幅に減少している。

また、中途採用者のうち正社員として採用されているのは、2010年は1,167人中564人（48.2%）、2011年

は299人中199人（66.6%）の予定となっている。

(図表3)

## ■ 派遣労働者の状況

2010年中（1～12月）に派遣労働者を採用した企業は、177社中79社（44.6%）であった。2011年中では50社（28.2%）が採用を予定している。未定とする企業は、25社（14.1%）あった。

派遣労働者採用人数（延べ）を年別にみると、2010年中は4,076人、2011年中は2,526人（1,550人減、△38.0%）の予定となっている。

# 2011年度 富山経協

	活動方針	区分	4月	5月	6月	7月
全体行事	・富山県下のあらゆる業種・規模の企業を会員とする民間の経済団体として「経営と人」の問題について取り組む。	会議・事業	政策委員会 (4月5日)	定時総会 理事会 講演会・座談会 (5月9日)		政策委員会 高岡・西部地区会 員懇談会(7月7日) 北陸三県正副会長会議 (7月14日)
経営特別委員会	・経営者が直面する経営課題を研究し、その成果を広く会員企業に情報として提供する。	会議・事業	委員会	小冊子発行	委員会	
総務委員会	1.協会の運営上の問題を取り扱い、適切な事業計画の策定に努める。 2.ブランド力向上のため会員増強運動を継続する。 3.会員相互の連携強化に努め、組織の活性化を図る。	会議・事業	定例委員会 (4月21日)			
	社内コミュニケーション部会 1.社内広報および社外への企業広報に関する情報交換・調査研究を行う。 2.社内報編集者の相互啓発と編集技術の向上。	活動		実務講座 合評会		
	総務部会 ・企業における内部管理・庶務事項の共通問題に関し、意見交換・連絡・調査を行い、会員相互の連携を図るとともに、コンプライアンスの定着に努め、企業活動に寄与することを目的とする。	活動		連絡会		連絡会 企業見学研修会
人事・労務政策委員会	1.労働法制、人事・労務管理に関する研究と成果の提供を図る。 2.人事処遇等の調査活動を充実させ、タイムリーに成果を提供する。 3.労働関係法を実務に即して学び、適正な人事・労務管理に努める。 4.雇用形態の多様化に適応した人事情報・施策の周知を図る。 5.正常な労使関係の維持確立に努める。	事業 会議		人事・労務管理 セミナー(第1回) (5月24日)	労働法実務研修会 (第1回) (6月22日)	人事・労務管理 セミナー(第2回) (7月22日)
	研究部会 ・労働法関連法制研究部会 事例・判例研究を中心に労働問題に関するスキル向上 ・メンタルヘルス対策研究部会 メンタルヘルス関連情報の共有で各企業の対策に寄与	活動	幹事会	定例委員会		労働法関連法制 研究部会
教育委員会	1.会員企業のニーズを反映した企業内教育を補完する講座・セミナーを開催し、会員企業の社員教育、社員の資質の向上の一助とする。 ①「階層別教育」は、異業種交流を前面に打ち出し、講座の内容を見直し実施する。 ②「職能別教育」は、営業、事務間接、生産それぞれの部門を対象に、職務能力の向上と課題解決を図るため、新しい考え方や最近の企業事例を加え実施する。参加各社との情報交換・意見交換を行う。 2.特定テーマの事例研究や教育課題の情報交換を行なう。	階層別教育	新入社員講習会 (4月4日)		中堅社員活性化 コース<2日間> (6月7・8日)	第一線管理監督 者講座 (第1回) ①係長・主任クラス (7月13日) ②部課長クラス (7月14日) (第2回)(7月21日) (第3回)(7月28日)
		職能別教育	管理職マネジメント研修 ——(～5月14日)——▶	ビジネス・マネー 習得コース (5月19日) 営業力基礎コース <2日間> (5月16・17日)	IE手法による 生産現場の改善 (6月16日)	
	研究部会 ・特定テーマについて調査・研究し、情報発信を行なう。	会議		定例委員会		研究部会
品質管理委員会	1.「顧客第一、品質優先」の基本思想の徹底と、科学的な管理手法やISO、TPM、IE等の普及・浸透を図る。 2.階層別・分野別の品質管理教育を実施し、経営主導による全部門、全員参加の品質経営活動の展開と推進を図る。 3.品質管理担当者相互の情報交換、啓発・啓蒙活動に取り組み、会員企業の品質管理活動の活性化、レベルアップを図る。	事業	品質管理入門コース 講座(第1回) <4日間> (4月5日、12日、 19日、26日)		県内企業見学研 修会	部課長マネジメ ントコース講座 (7月6日～8日)
		会議	定例委員会 (4月20日)		品質工学実践講座<10日間> ← 品質管理セミナー「実践しながら学ぶ統計的手法」	
環境委員会	1.環境負荷の少ない持続的発展が可能な社会の構築に向けて、企業経営の視点から省資源・省エネルギーや地球温暖化対策等の調査、研究に取り組む。 2.環境マネジメントの国際規格に対処するため調査、研究に取り組む。 3.関係団体の活動を調査し、連携を図る。 4.環境・産業廃棄物担当者の相互啓発を図る。 特定テーマ「地球温暖化対策」 省エネを含めた「地球温暖化対策」をテーマとしたセミナー等により勉強を進める。	事業				地球温暖化対策 セミナー (第1回)
		会議		情報交換会		県外企業見学研 修会
文化交流委員会	・企業における文化的な面をテーマとした相互交流、多様なふれあいの場を設け、会員企業の各階層の相互啓発、活性化をサポートする。	事業 会議				



# 年間スケジュール

8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	2012年 1 月	2 月	3 月
	政策委員会 富山地区会員懇談会 (9月9日)		政策委員会 東部地区会員懇談会		新春互礼会	理事会	
委員会		委員会 見学会		委員会			委員会 見学会
定例委員会	会員企業名簿の発行 下期スケジュール表の 発行			定例委員会	定例委員会	年間スケジュール 表の発行	
企業見学研修会			定例部会 合評会 実務講座				
	連絡会		定例部会 連絡会		研修会 連絡会		定例部会 連絡会
	労働法実務研修会 (第2回) (9月16日)	人事・労務管理 セミナー(第3回) (10月12日)	労働法実務研修会 (第3回)		労働法実務研修会 (第4回)	労使交渉セミナー (2月上旬)	連合富山との懇談会
定例委員会			幹事会	定例委員会		定例委員会	
	労働法関連法制 研究部会	メンタルヘルス 対策研究部会	労働法関連法制 研究部会		労働法関連法制 研究部会 メンタルヘルス 対策研究部会		
女性社員キャリア アップセミナー (8月5日)	女性リーダーキャ リアアップセミナー (9月8日)	係長・主任基礎 コース(第1回) <2日間> (10月4・5日) 若手社員活性化 コース(10月下旬)	管理者基礎コー ス<1泊2日> (11月11~12日)			係長・主任基礎 コース(第2回) <2日間> (2月14・15日)	
←————— 管理職マネジメント研修(9月~2012年5月) —————→							
	改善力養成セミ ナー・基礎編 (9月27日) 経理・財務の基 礎コース (9月下旬)	事務・間接(スタ ッフ)部門の効果 的業務改善の進 め方 (10月18日)	コスト改善力実 践コース (11月16日)	「5S+目で見る 管理活動」実践 コース (12月6日)		購買管理実践 コース (2月21日)	C S (顧客満足) 基礎セミナー (3月上旬) 改善レベルアップ セミナー・応用編 (3月15日)
定例委員会 (事例研究)			定例委員会	定例委員会			
	研究部会	研究部会			研究部会報告書発行		
経営トップミー ティング (4月15日~10月14日)	品質管理入門コー ス講座(第2回) <4日間> ヒューマンエラー 対策講座<2日間> (9月21・22日)	品質トラブル未 然防止セミナー 県外企業見学研 修会	ISO9001内部品 質監査員養成コ ース <2日間> 講演会				
活用講座<15日間>(5月12日~10月6日)							
	定例委員会			定例委員会		定例委員会	
富山県生活環境 文化部との情報 交換会	地球温暖化対策 セミナー (第2回) ISO14001内部環 境監査員養成コ ース<2日間>	県内企業見学研 修会	事例発表会			「事例発表会」報 告書発行	講演会(後援)
定例委員会 幹事会	情報交換会	情報交換会	定例委員会	幹事会			
企業見学研修会	ゴルフコンペ (9月10日)		ボウリング大会	講演会			
定例委員会				定例委員会			

## 業務日誌

2011年 1月 6日～ 3月 5日

	事業名	委員会名	開催日	場所	参加者数
会	労働法制・メンタルヘルス合同研究部会	人事・労務政策	1月19日(水)	富山経協・研修室	20名
	総務部会 月例会・研修会	総務	1月20日(木)	関西電力(株)北陸支社	9名
	総務委員会「定例委員会」	総務	1月27日(木)	富山電気ビル	10名
	品質管理委員会「幹事会」	品質管理	2月 3日(木)	富山経協・会議室	9名
	理事会		2月 7日(月)	名鉄トヤマホテル	49名
	研究部会発表会		2月 7日(月)	名鉄トヤマホテル	78名
議	富山県工業教育振興会「産学懇談会」	富山県工業教育振興会	2月16日(水)	名鉄トヤマホテル	55名
	人事・労務政策委員会「定例委員会」	人事・労務政策	2月22日(火)	富山経協・研修室	20名
	連合富山との懇談会		3月 3日(木)	ANAクラウンプラザホテル富山	17名
	経営特別委員会	経営特別	3月 4日(金)	富山経協・会議室	10名
セミナー・講座	労働法実務研修会	人事・労務政策	1月19日(水)	富山商工会議所ビル	59名
	管理職マネジメント研修(第5回)	教育	1月19日(水)	富山県農業総合研修所	29名
	2011年度労使交渉セミナー	人事・労務政策	2月 4日(金)	富山商工会議所ビル	34名
	第2回 係長・主任基礎コース	教育	2月16・17日(水・木)	富山県市町村会館	64名
	管理職マネジメント研修(第6回)	教育	2月25・26日(金・土)	富山県農業総合研修所	29名

## 連合富山との懇談会

「連合富山と富山県経営者協会との懇談会」が3月3日(木)、ANAクラウンプラザホテル富山で開催された。富山経協からは稲垣会長はじめ、武内、綿貫、高田、桑名、笠井副会長、片芝人事・労務政策委員会副委員長など、9名が、連合富山からは森本会長ら8名が出席した。

はじめに、森本会長から稲垣会長に、①賃金カーブ維持分の確保②非正規労働者を含めた全労働者を対象とした賃金をはじめとする処遇改善③中小・地場の賃金改善④ワーク・ライフ・バランスの実現⑤最低賃金の引き上げを求める「要請書」を手渡し、「県内の経済は下げ止まり傾向にあり、企業収益も総じて改善しているが、輸出産業等を中心とした外需によるところが大きい。景気を本格回復

させるには、勤労世帯における将来不安の払拭と労働条件の復元が最優先の施策である」と挨拶した。

これを受けて稲垣会長から、「リーマンショックからは回復しているが、元に

戻ったわけではなく依然として厳しい状況に変わりはない。特に円高、株価の乱高下、そして最近の中東情勢に端を発した原油高、食糧の高騰により、ますます不確実性が増している。この中で、県内企業経営者は必死の努力をし、経営を維持している。企業の存続、発展はすでに一地域レベルでできるわけではなく、よりグローバルな中で考えていかなければならない。国内だけでなく、新興国を中心に



より豊かさを求める地域を市場ととらえ、ビジネスチャンスを広げていくことも必要である。そのためには、労使でも県内産業の成長戦略を築いていくための議論をする必要がある」との挨拶があった。

その後、自由討議に入り、県内経済の先行き、65歳までの雇用維持の取り組み状況、最低賃金のあり方などについて、意見交換を行った。

## 経営特別委員会

### ■第32回委員会

3月4日(金)、守山委員長はじめ委員10名が参加して、富山経協・会議室で開催し、組織活性化への仕掛け・取り組みの研究成果のまとめとなる「小冊子 事例編」について審議を行った。

守山委員長より、基礎編に続き事例編のたたき台を作成した。事務局から説明後、ご意見をいただき内容を決めていきたい。また、

2011年度の新しい事業として企業見学会を実施するとの挨拶があった。事務局より、事例編は①全国企業の組織活性化への個別事例、②キリンビールV10推進プロジェクト、③委員企業の取り組み事例、④経営者に聞く取り組み事例の4部構成でまとめたことなどを説明した。

審議では、①編集の流れは事務局案で進めるが、キーポイントをゴシックで強調するなど、読みや

すくする工夫を加える、②一部厳しい表現についてはやわらかくする、③今回の審議内容を受けて、委員企業の取り組み事例の見直し版を3月7日までに該当委員に送り、見直していただく、④引き続き全体の編集作業を進め、最終案を3月25日までに委員に送り承認後、政策委員会(4月5日開催)で審議していただくことを決めた。

次回委員会は、4月22日に開催する。

## 総務委員会

### ■定例委員会

1月27日(木)、金井委員長はじめ委員10名の出席により富山電気ビルで開催し、次の2月度理事会付議議案について審議した。



- (1)2010年度事業報告
  - (2)2010年度収支決算承認の件
  - (3)2011年度事業計画(案)審議の件
  - (4)2011年度収支予算(案)審議の件
- 審議の結果、いずれも原案通り承認され、全議案が2月7日開催の理事会に上程されることとなった。

### ■総務部会「研修会」

企業における総務担当者の共通課題に取り組んでいる総務部会は1月20日(木)、参加9名により、関西電力北陸支社で研修会を開催した。



今回は関西電力北陸支社参事の西野重信氏に講師をお願いし、「わが社の危機管理」と題して講演いただいた。西野参事がこれまで遭遇した、企業にかかわるトラブルの原因や予防に向けての心構えなどを1時間にわたって話し、参加者は今後の自社の参考とした。

## 人事・労務政策委員会

### ■定例委員会

2月22日(火)、綿貫委員長はじめ24名が出席して、富山経協・研修室で開催した。

綿貫委員長の挨拶に続き、メンタルヘルス研究部会で作成した小冊子「メンタルヘルス対策報告書」の内容について、研究部会長・北陸電力(株)竹内氏、副部会長・北陸コカ・コーラボトリング(株)出町氏、YKK(株)黒部事業所加藤氏から報告があり、県内企業の対策の現状



や意識状況を確認した。

次に、富山障害者職業センター所長の菊氏から「リワーク支援」、富山産業保健推進センター副所長の北河氏から「メンタル対策支援」

など、取り組みの実情を説明していただいた。

県内企業のメンタルヘルスに対する意識はまだまだ低く、対応できる環境も整っているとは言えないが、本人・事業主・医療関係者が連携してリワーク支援や相談機関を活用し、メンタルヘルス発症要因が複雑・多様化している今こそ真摯に取り組んでいかなければならないなどと情報交換を行った。

## ■労働法実務研修会(第4回)

1月19日(水)、「メンタルヘルス対策と企業責任」をテーマに、59名の参加を得て、富山商工会議所ビルで開催した。

第一芙蓉法律事務所の木下潮音弁護士は、企業の業種、規模を問わず、従業員の心の健康問題が企業運営の課題となっている。突然の休業、長期の傷病休職、退職、上司や周りの同僚等とのトラブルなど、従業員の心の健康問題は人事管理上、多岐にわたる取り組み



を必要とする。メンタルヘルスは予防策がもっとも重要であるが、それとともに、実際に事案が発生した場合の対処法を知ることもしクマネジメント上、欠かすことができないとして、企業に必要なメンタルヘルスの取り組み、精神障害の労災認定基準と実際の運用、メンタルヘルスに関する最近の裁判例などについて詳しく解説した。

## ■2011年度労使交渉セミナー

2月4日(金)、日本経済団体連合会労働政策本部の遠藤和夫主幹を講師に迎え、「春季労使交渉に向けての経営側のスタンス」をテーマに、34名が参加して、富山商工会議所ビルで開催した。概要は次の通り。

日本経済は、①景気刺激策の効果の剥落や、海外経済の減速を受

け、回復の勢いが弱まっており、経済全体の水準は経済危機以前の状態には戻っていない。②企業の想定を上回る円高が継続しており、輸出企業のみならず、関連する製造業やサービス業など、広範囲にわたり影響を受けており、特に、地方の中小企業は深刻な打撃を受け、地域経済が一層疲弊しかねない。また、国内での生産・投資活動を停滞させ、雇用の維持・創出も困難となる可能性がある。③需給ギャップは依然大きく、デフレ圧力は当面続く見込みで、消費者物価指数は、2009年2月以降23カ月連続で前年を下回っている。円高によるデフレに一層の拍車がかかれば、今まで以上に価格転嫁が難しい状況に置かれ、一段の収益悪化の懸念がある。

2011年度交渉・協議における経

## 参加者NOTES

教育委員会

### 「係長・主任基礎コース」を受講して

北電情報システムサービス株式会社  
カスタマサービスグループ  
システム管理チーム 主任 犬島 義成



2月16日・17日に開催された「係長・主任基礎コース」を受講させていただきました。講師から「富山県は沢山の参加者が集まりますね。人材育成に力を入れている企業が多く、すばらしいですね!」と称賛されるだけあり、64名(20社)もの参加がありました。

講義は、企業を取り巻く環境の変化について、ドラッカー理論をもとに「経済学を中心に企業利益ばかりを追求すると、経済はおかしくなる。今後、企業が生き残るためには、顧客満足や品質を重視

した経営学を中心にすべきである」との説明から始まり、更に「マネジメントの基本機能は、マーケティング(顧客志向の調査)とイノベーション(顧客満足の創造)である」と強調されました。経済学と経営学で企業経営したケースと、マーケティングの有無で明暗が分かれたケースを分かりやすく説明していただき、話の内容が面白いので、いつの間にか聞き入ってしまった。イノベーションには「温故知新」の考えも必要とのこと、五重塔の建築技法を取り入

れた東京スカイツリーを思い浮かべました。

マネジメントサイクルとして「管理の5機能」計画・組織化・指令・統制・調整を今回教えていただきました。PDCAの元になる考えで、特に「計画」が最も重要とのこと、一般的に「段取り八分」とも言われるとおり、計画の良し悪しでプロジェクトの成果が左右すると言われ、「自分は計画を十分に行っているだろうか?」と振り返る機会でもありました。

また、監督者として問題の発見と改善が大きな役割であり、「職場に問題の無いことが一番の問題」との言葉にも痛感しました。グループディスカッションでは、どの企業でもありそうな事例をもとに問題発見の実習を行い、他社の方と活発な意見交換ができました。

営側の基本スタンスについて、①賃金水準を上げるためには、安定した経済成長の実現が不可欠であり、水準の復元ありきの主張は適切と言えない。企業活動を早期に活性化させることで雇用の機会を生み出していけるよう、政労使が協力していく発想が強く求められる。

②国内事業立地の維持を図ろうとすれば、賃上げより雇用を重視した交渉が重要で、中堅・中小企業では、雇用を最優先した交渉を継続し賃金改善を行う企業は少ないと想定される。今次労使交渉では、定期昇給の維持を巡る賃金交渉を行う企業が大半を占めると見込まれる。③非正規労働者の処遇改善



については、総額人件費の問題であり、非正規労働者だけの議論は現実的でない。非正規労働者の賃金は、労働市場の需給関係や地域差を考慮することが必要。従業員間、あるいは雇用形態間の処遇の納得性を高めるため、あくまで仕事・役割・貢献度に照らして判断していくことが必要である。④内部留

保の取り崩しによる賃上げに対しては、設備投資や研究開発投資のための資本の有効活用が、企業の成長を通じて雇用の安定等にも繋がる。

企業の成長と従業員の豊かさの実現を図るため、全ての従業員は、ともに組織の成長を目指す経営のパートナーである。中長期的な視点に立った経営を可能にするのは、労使の信頼関係があればこそである。企業と従業員がともに成長していくため、健全な労使関係の深化を図り、人間尊重の経営を実践することが求められるなどの具体的な解説があった。

## 教育委員会

### ■第2回係長・主任基礎コース

2月16・17日(水・木)、64名の参加を得て、富山県市町村会館で開催した。

講師の佐藤充昶(たかてる)ヒューマン・クリエイト代表が、今日の企業環境変化と係長主任の役割、仕事の管理と問題解決、人間行動の理解と部下育成、リーダーシップと職場の活性化などについて講義、ケース研究、診断、活発な意見交換を通して学んだ。

このなかで、①目標を達成するためには、他と比較し、資源を効果的・効率的に活用することが重要である②企業利益を生むためには、コスト削減も重要であるが、顧客満足やサービスの向上、品質管理を徹底することで顧客がいてくる③問題・課題解決や改善活動が活発に行われる職場の風土づくりが一層重要である④人の扱い方について、経済・社会環境などの外部要因と個人の価値観・資質・性格・過去の経験などの要因が

複雑にからみあうので、個別の対応が必要である⑤コミュニケーションの重要性にも触れ、はじめから批判的な態度をとらず、じっくり意見を聞くこと(積極的傾聴)が大切で、部下指導・コーチングの際には、部下自身の考える力を養うことが必要であるとした。

(「参加者NOTES」12頁掲載)



## 品質管理委員会

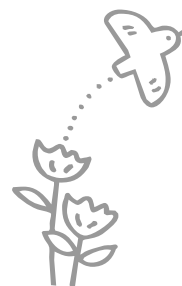
### ■幹事会

2月3日(木)、第1回幹事会を、町野委員長はじめ幹事9名が参加して、富山経協・会議室において開催した。

品質管理委員会では、委員会活動の活性化をねらいに2011年度から幹事会を新設し、講座の担当委員制の導入、定例委員会や工場見学でのグループディスカッションの実施など、新たな取り組みを行うことにした。

この日の幹事会では、2011年度のスケジュール、講座の担当委員

割り、定例委員会でのグループディスカッションテーマ及び委員企業工場見学先の選定とその進め方など、委員会活動の活性化に向けた新事業への取り組みについて審議した。



# 新会員紹介

(五十音順)

## ■ 株式会社 クレハ

所在地 富山市下野977-1  
代表者 代表取締役 牛島 巖  
設立 1947(昭和22)年4月  
資本金 1,000万円  
従業員 21名  
事業内容 精密分析装置・工業測定器・理化学機器の販売、LED照明の販売



## ■ 株式会社 三和製玉

所在地 富山県向新庄町8-1-29  
代表者 代表取締役 松永 豊  
創業 1961(昭和36)年  
資本金 1,000万円  
従業員 56名  
事業内容 鶏卵加工食品製造、業務用食品卸売



## ■ 有限会社 シンワ電工

所在地 富山市水橋開発456-3  
代表者 代表取締役 藤田 淳一  
創業 1986(昭和61)年1月1日  
資本金 500万円  
従業員 13名  
事業内容 電気設備・空調設備・消防設備の設計施工



## 会員の動き

(五十音順) (敬称略)

### ■ 代表者の変更

#### 昭和タイタニウム株式会社

代表取締役社長 海老沼 彰 (前:戸澤 滋)

#### 丸栄運輸機工株式会社

代表取締役社長 高木 光男 (前:高木武男)

### ■ 役職位の変更

#### チューモク株式会社

代表取締役会長 西村 亮彦 (前:代表取締役社長)

### ■ 所在地変更

#### 日新火災海上保険株式会社 富山支店

〒930-0004 富山市桜橋通り6-11

富山フコク生命第2ビル3F(前:富山市八人町8-5)

## INFORMATION

(事業案内)

お申し込みはホームページ

<http://www.toyama-keikyo.jp/> からお願いします。

人事・労務政策委員会

### 人事・労務管理セミナー (第1回)

中堅・中小企業の人事・賃金セミナー

社員の納得性とやり甲斐を持たす人事・賃金制度への改定の進め方やポイントについて説明します。

■日 時: 5月24日(火) 9:30~16:00

■場 所: 富山県経営者協会 研修室

■講 師: (財)日本生産性本部

代表経営コンサルタント 元井 弘

■受講料: 会員 12,000円/会員外 24,000円

教育委員会

### 営業力基礎コース

~基本的な知識・技能の習得~ 基本的知識と必要な態度・マナーの習得、営業活動の基本ステップの習得。

1. 営業担当者の役割とマナー

2. 訪問計画の立て方と営業情報の収集

3. 効果的な商談のすすめ方

■日 時: 5月16日(月)・17日(火) 9:30~16:30

■場 所: 富山商工会議所ビル9階99号室

■講 師: (財)日本生産性本部 経営コンサルタント 小林定夫

■受講料: 会員 20,000円/会員外 40,000円

品質管理委員会

新技術・新製品の開発速度が2倍になる、基幹技術を構築できる

### 品質工学実践講座(タグチメソッド)

製品設計者や製造技術者が、技術的な最適条件を効率よく求める品質工学の考え方を理解し、技術開発の生産性向上、品質向上と原価低減の課題をバランスよく解決する方法を学ぶ。

■期 間: 4月15日~10月14日(10回)

■場 所: 富山県経営者協会 研修室

■受講料: 会員 95,000円/会員外 120,000円

■定 員: 20名

### 品質管理セミナー

「実践しながら学ぶ統計的手法活用講座」

統計的品質管理(SQC)手法を学び、受講者の職場の問題をテーマとしてとり上げ、グループごとに担当講師からカウンセリングを受けながら、問題解決を実践する。

■期 間: 5月12日~10月6日(15回)

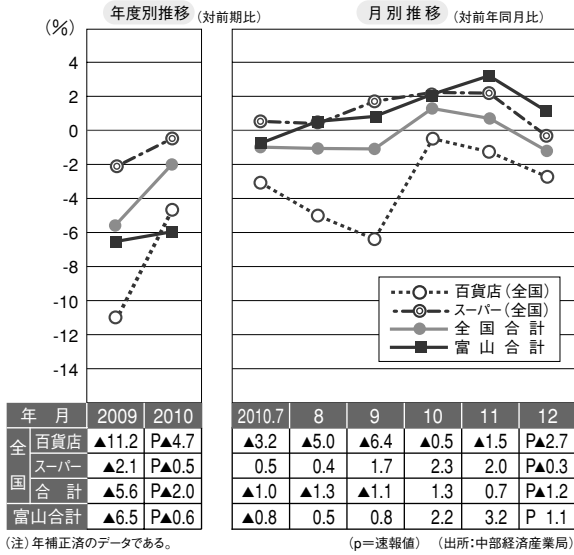
■場 所: 富山県経営者協会 研修室

■受講料: 会員 95,000円/会員外 120,000円

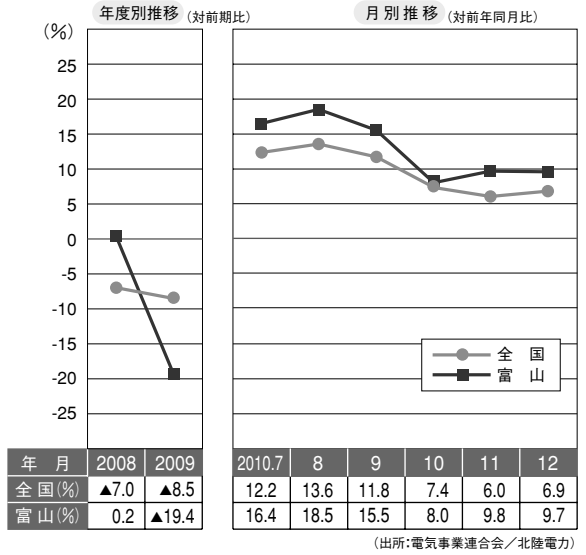
■定 員: 40名

# 景況指標

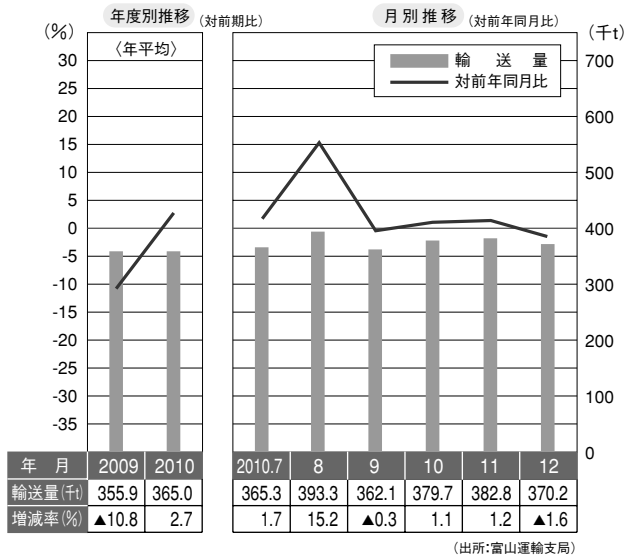
## ■百貨店・主要スーパーの売上高



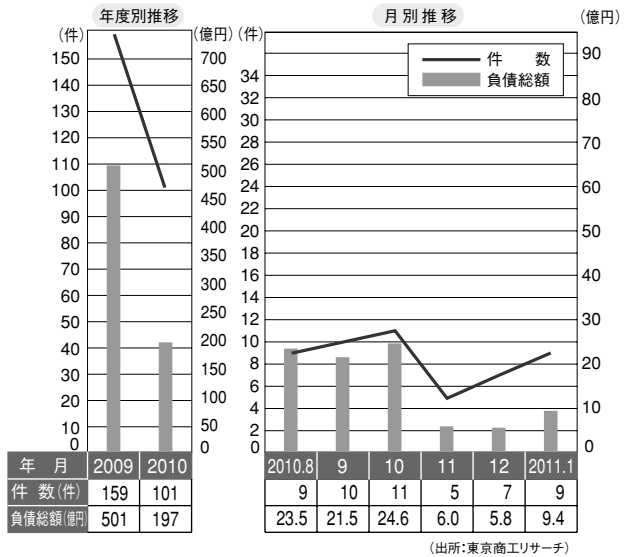
## ■大口電力消費量 (製造業計)



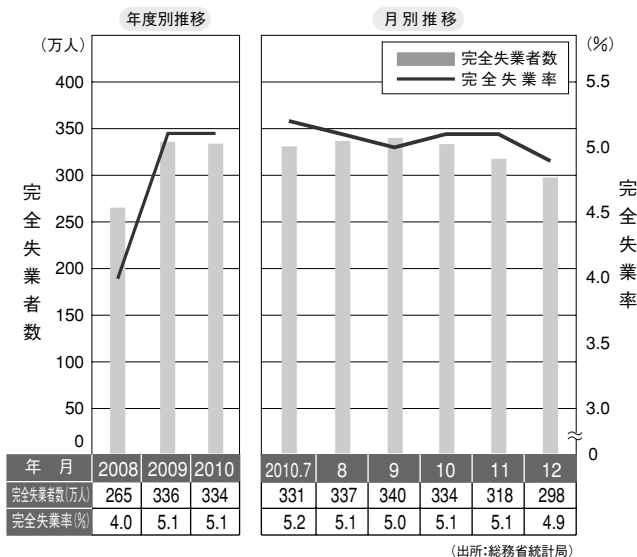
## ■一般貨物自動車輸送量 (富山県内)



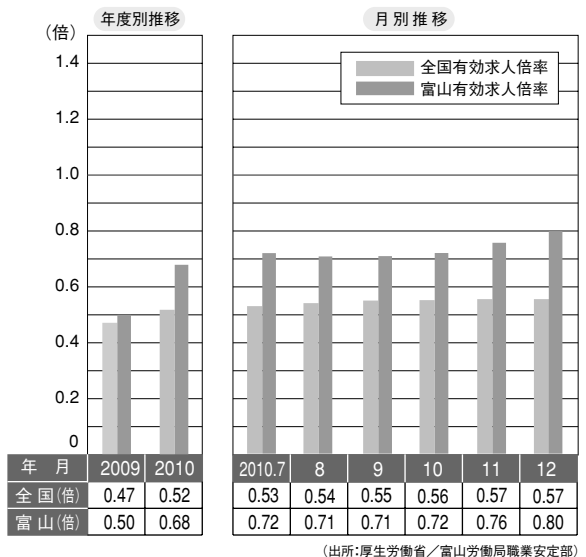
## ■企業倒産 (富山県内) (件数と負債総額)



## ■完全失業者数及び完全失業率 (季節調整値)



## ■有効求人倍率 (パートを含む季節調整値)



5月9日(月)



## ◆ 富山経協 定時総会

時間：15時30分～16時00分

場所：ANAクラウンプラザホテル富山  
3階「鳳」

総会の後、知識経営の生みの親として知られる  
一橋大学大学院 名誉教授 野中 郁次郎 氏を  
お招きして、「講演会・座談会」を右記の通り  
開催いたします。

### ◆ 講演会・座談会

「富山の現場から見る日本の経営  
：現場感の重要性」

基調講演 16時05分～17時30分

講師：野中 郁次郎 氏

一橋大学大学院 名誉教授  
カリフォルニア大学バークレー校  
経営大学院 セロックス知識学  
特別名誉教授

座談会 17時40分～18時30分

野中講師と当協会役員

(稲垣会長、町野副会長、金岡インテック社長)

### ◆ 懇親会 18時40分～20時00分

## 行事予定

2011年3月15日～5月31日

詳しくはホームページ (<http://www.toyama-keikyo.jp/>)  
「講座・講演案内」をご覧ください。

	開催日	時間	事業名	委員会名	場所	備考
会 議	4月 5日(火)	16:30～18:30	政策委員会		富山第一ホテル	
	4月20日(木)	15:00～	品質管理委員会「定例委員会」	品質管理	富山経協・研修室	
	4月21日(木)	16:00～17:00	総務委員会「定例委員会」	総務	富山電気ビル	
	4月22日(金)	16:00～17:00	経営特別委員会	経営特別	富山経協・会議室	
	5月 9日(月)	15:30～	定時総会・理事会・講演会・座談会		ANAクラウンプラザホテル富山	上記おしらせ参照
セ ミ ナ ー ・ 講 座	3月15日(水)	13:30～16:30	改善レベルアップセミナー～応用編～	教 育	富山商工会議所ビル	
	3月16日(水)	9:00～17:00	管理職マネジメント研修(第7回)	教 育	富山県農業総合研修所	
	4月 4日(月)	9:30～16:30	新入社員講習会	教 育	富山県市町村会館	
	4月5、12、19、26日(火)	9:30～17:00	品質管理入門コース講座(第1回)	品質管理	富山経協・研修室	
	4月15日(金)～	9:00～16:00	品質工学実践講座	品質管理	富山経協・研修室	14頁INFORMATION参照
	4月19日(火)	9:00～17:00	管理職マネジメント研修(第8回)	教 育	富山県農業総合研修所	
	5月12日(木)～	9:00～17:00	品質管理セミナー 「実践しながら学ぶ統計的手法活用講座」	品質管理	富山経協・研修室	14頁INFORMATION参照
	5月13・14日(金・土)	9:00～	管理職マネジメント研修(第9回)	教 育	富山県農業総合研修所	
	5月16・17日(月・火)	9:30～16:30	営業力基礎コース	教 育	富山商工会議所ビル	14頁INFORMATION参照
	5月19日(木)	9:30～16:00	ビジネス・マナー習得コース	教 育	富山商工会議所ビル	
5月24日(火)	9:30～16:00	人事・労務管理セミナー(第1回)	人事・労務政策	富山経協・研修室	14頁INFORMATION参照	

表紙の花

ソメイヨシノ並木

中央植物園の「花のプロムナード」には、1977年に植栽された90本のソメイヨシノがあり、花の時期には約300mのサクラのトンネルが造られます。毎年、満開の4日間は無料開園で、夜間はライトアップも行われています。

(富山県中央植物園 中田政司)

「富山経協」vol.793

2011年(平成23年)3月号  
2011年3月15日発行(隔月〈奇数月〉15日発行)

社団法人 富山県経営者協会

〒930-0083 富山市総曲輪2丁目1番3号(富山商工会議所ビル 別館5階)  
TEL (076) 421-9588 FAX (076) 421-9952

ホームページ <http://www.toyama-keikyo.jp/>Eメール [info@toyama-keikyo.jp](mailto:info@toyama-keikyo.jp)